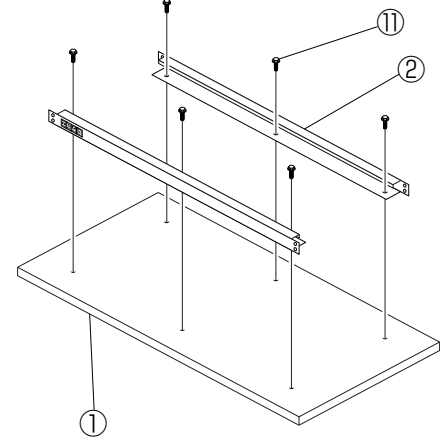
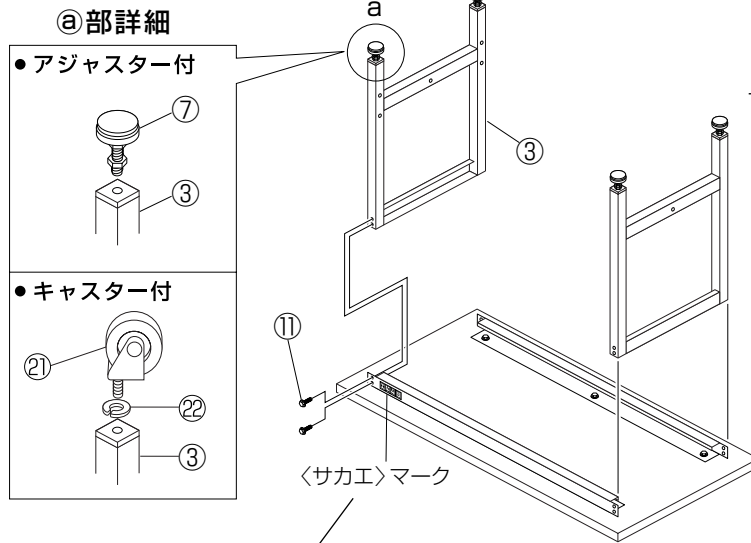


《組立て方法》

① 裏返した天板①の上に天受ビーム②を前後に置き、六角アプセットセムス⑪で仮止めして下さい。

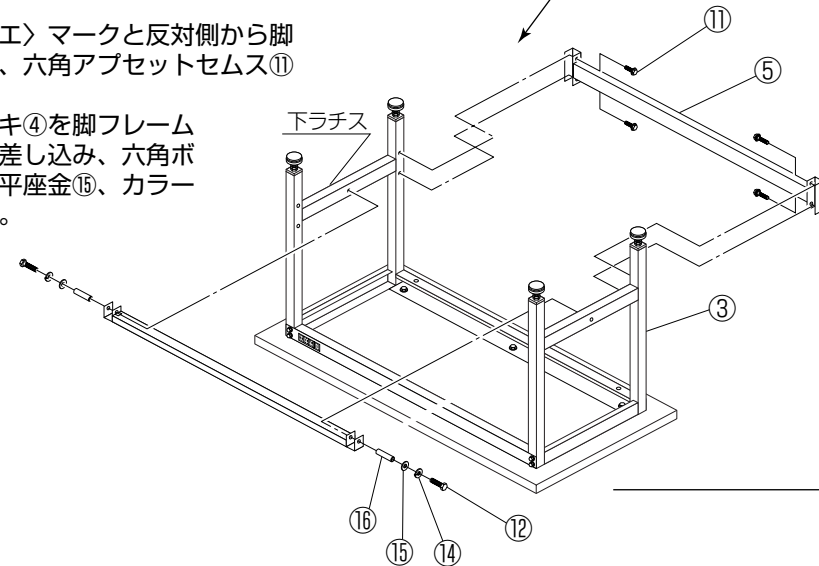


② 脚フレーム③を逆さにし、③部詳細のようにアジャスター付の場合はアジャスター⑦をねじ込んで下さい。キャスター付の場合はキャスター⑫にバネ座金⑭を、つけてねじ込んで下さい。そして「サカエ」マークと反対側に後ろカンヌキ用の穴がイラストの様に本体の内側にくる様に（※注記参照）天受けビーム②の両端に差し込み、外側より六角アプセットセムス⑪で仮止めして下さい。



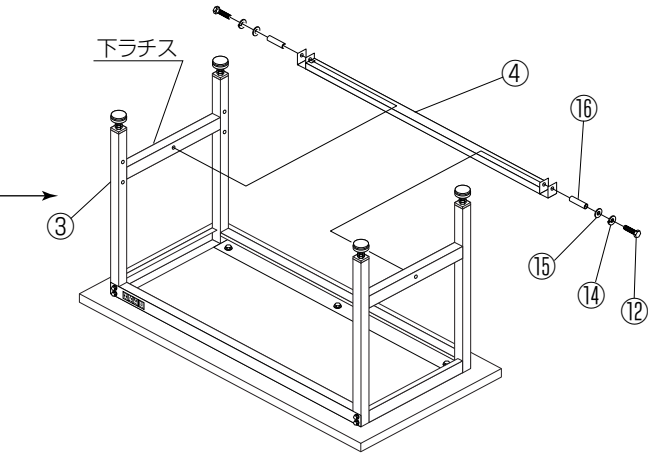
<KWタイプ>

③-③ 後カンヌキ⑤を「サカエ」マークと反対側から脚フレーム③に差し込み、六角アプセットセムス⑪で仮締めして下さい。また、センターカンヌキ④を脚フレーム③の下ラチス中央部に差し込み、六角ボルト⑫、バネ座金⑭、平座金⑮、カラー⑯で仮止めして下さい。



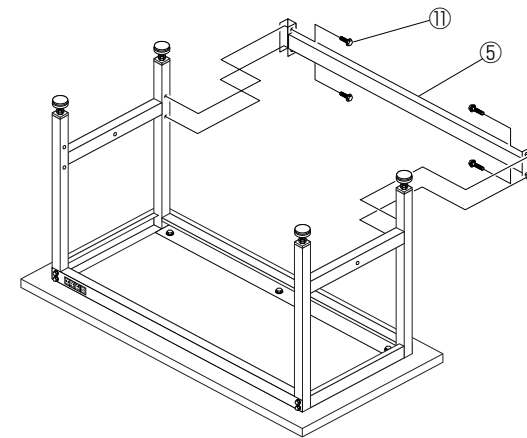
<CB, KTタイプ>

③-① センターカンヌキ④を脚フレーム③の下ラチス中央部に差し込み、六角ボルト⑫、バネ座金⑭、平座金⑮、カラー⑯で仮止めして下さい。

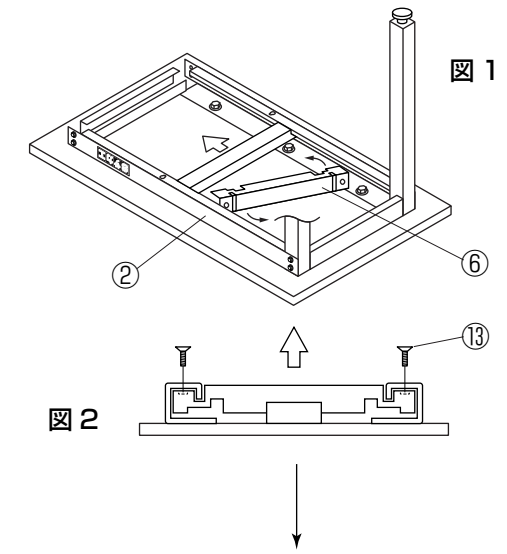


<KV, KT (キャビネットワゴン付)、KWタイプ>

③-② 後カンヌキ⑤を「サカエ」マークと反対の面から脚フレーム③に差し込み、六角アプセットセムス⑪で仮締めして下さい。



④ [奥行D=900のタイプ]
本体を仮止めの状態で、補強フレーム⑥を天受ビーム②の間に、図1の様に穴のある面を横に向けて斜めに入れて入れ、それから天受ビームと垂直になるように回転させます。この時、同時にビス穴がある面が上になるようにします。この状態にしておいてから、全てのネジを本締めして下さい。
本締めが終わったら、補強フレームを天受ビームの中心付近の穴の位置まで移動させて、図2のように補強フレームを持ち上げながら、皿小ネジ⑬でネジ止めして下さい。締め忘れがないのを確認してから、本体を起こして下さい。
[奥行D=600, 750のタイプ]
仮止め部分を本締めして下さい。締め忘れがないのを確認してから、本体を起こして下さい。

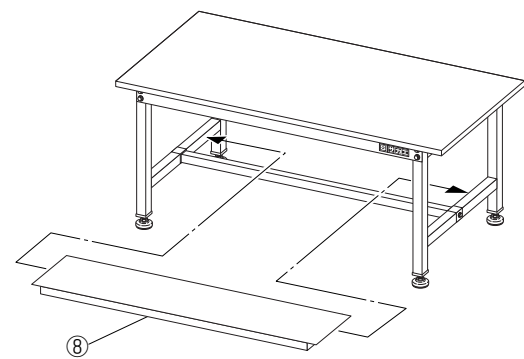


【キャビネットが付く場合】

⑤ ㊦作業台 奥行D=600のタイプ
天受けビーム②の任意の位置にキャビネット吊金具⑩をセットし、キャビネット⑨の引出しを抜いて裏返してキャビネット吊金具の上に置き、六角ボルト⑰、平座金⑮で本締めして下さい。
㊧作業台 奥行D=750, 900のタイプ
天受けビーム②の任意の位置にキャビネット吊金具⑩をセットし、キャビネット吊金具の後方(⑥部詳細)に浮き上がり防止板⑱、トラス小ネジ⑲、平座金⑮で浮き上がり防止を行って下さい。キャビネット⑨の引出しを抜いて裏返してキャビネット吊金具の上に置き、六角ボルト⑰、平座金⑮で本締めして下さい。

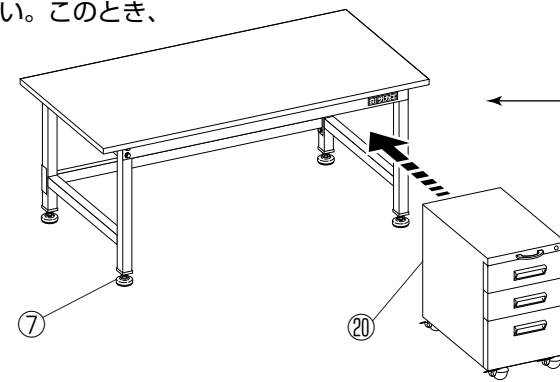
【中板が付く場合】

本体を起こした後に、中板⑧を脚フレームの上に置くように設置して下さい。(2枚まで設置可能)

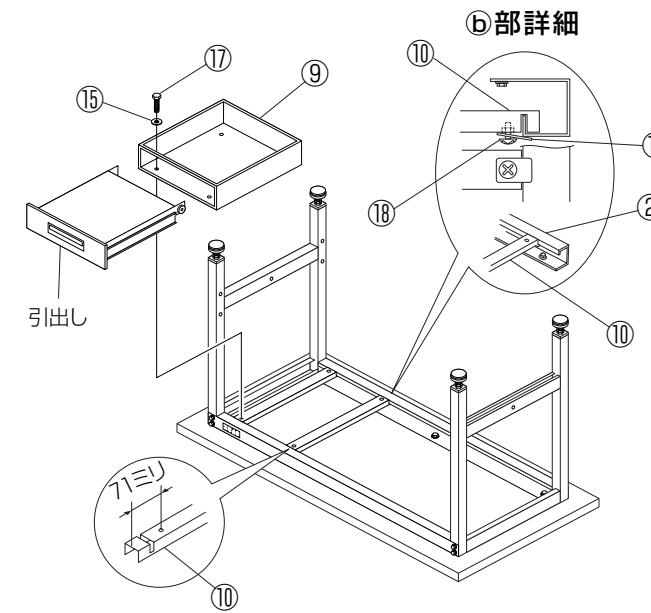
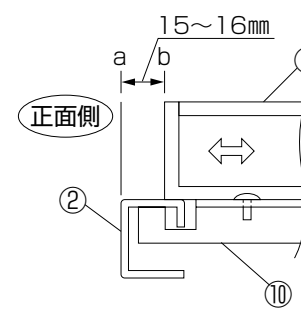


注) KVタイプ作業台は、中板を2枚取り付けた状態で65mmの隙間が出来ます。

⑥ 本体を起こす前に、全てのネジ・ボルトをはずれないように本締めして下さい。そして、全ての本締めが終わったら本体を起こし、本体と床面にガタツキがない様にアジャスター⑦で水平に調整して下さい。このとき、アジャスターの長さをCS, KT, KWは50mm以上(KWタイプは60mm以上)にして下さい。その後、キャビネットワゴン付は本体下部にキャビネットワゴン⑳を納めて下さい。



aタイプ (NKL-11, 22, 32, 33, WKL-1, 2, 3)
bタイプ (NKL-S10, S20, S30, NKL-10, 20, 30)



キャビネット吊金具をセットした後、キャビネットの引出しを抜き裏返して、キャビネット吊金具の上に置き六角ボルト、平座金で仮止めます。その後、取り付けるキャビネットがaのタイプである場合、本体(キャビネット)を図3のaの位置に本体の前面がくるように合わせます。またbのタイプのキャビネットの場合は、bの位置に本体の前面がくるように合わせます。そして、それぞれの位置に合わせたのち、はずれないように本締めして下さい。